

# 持続可能なビジネスモデルの構築に向けて

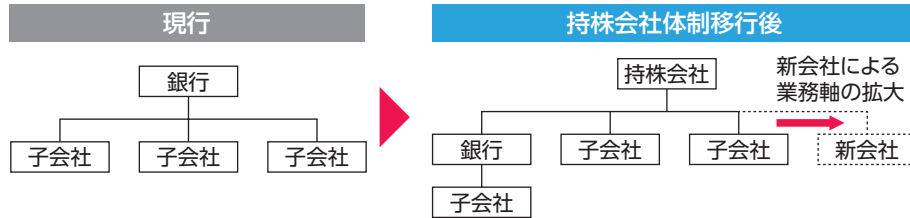
## 持株会社体制への移行の検討開始

地域社会を取巻く環境は、人口減少、少子高齢化に加え、デジタル化の進展、地球温暖化に対する脱炭素に向けた世界的な取組みの加速など、急速な変化を遂げるとともにさまざまな課題も出てきています。このような環境下で、地域社会が抱える課題は多様化、複雑化しており地域金融機関が果たすべく役割も大きく変化していくと考えています。

こうした事業環境の変化を見据え、これまで以上に「業務軸の拡大」を追求し、「経営資源の適正配分」「グループガバナンスの進化」を実践し続けられる組織体制を構築することを目的に、株主総会の承認および必要な関係当局の認可が得られることを前提とし、2022年10月を目途に持株会社体制へ移行することについて検討を開始しました。

環境の変化に柔軟に対応できる持続可能なビジネスモデルを確立し、金融を中心とした総合サービス業へ進化することにより、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

【持株会社体制移行後のグループ体制】



図はイメージであり、詳細は今後検討を進めてまいります。



## 新しい地区本部体制へ移行!

従来の地区本部制とブロック制の混在体制を刷新し、7つの地区本部の傘下に全店を置き、営業店支援の人財や機能を強化した新しい地区本部制へ移行いたしました。

新しい地区本部制に移行することで、営業店・本部の一人ひとりが自主的・主体的に考え動き、地方創生に取組み、お客さまに最適なサービスを提供し、営業店・本部、そして当行グループが一体感を持った営業体制の構築を進めてまいります。

基本的に行政区と同区分の単位で新たに地区本部を設置することで従来にも増して地域(市町村)との連携を強化してまいります。地域ごとに複雑化・多様化する課題やニーズに対して、より地域に近い地区本部が主体となって戦略を立案し、営業店と連携しながら地域金融機関として地域のみならずとも地域の活性化に資する取組みを展開します。

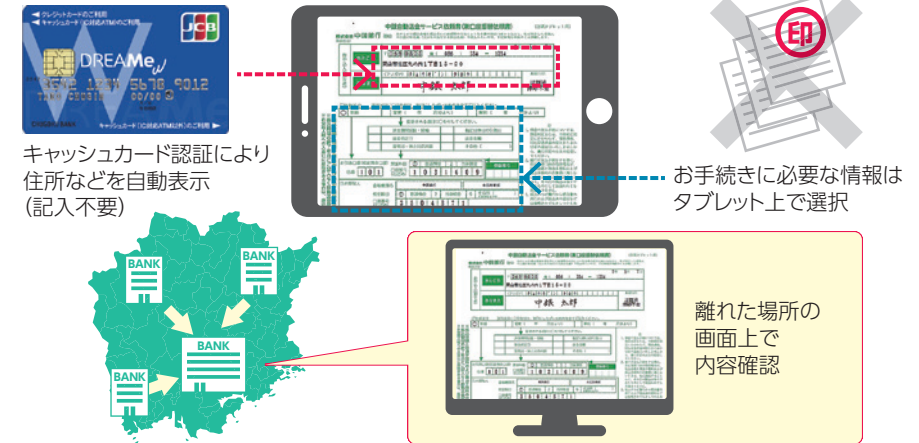
名称	設置場所
中央地区本部(新設)	本店営業部2階
備前地区本部(新設)	岡山南支店3階
備中地区本部*	倉敷支店3階
美作地区本部(新設)	津山支店1階
備後広島地区本部*	福山ビル4階
四国地区本部	高松支店3階
阪神地区本部	神戸支店2階

(※)「備中地区本部」と「備後広島地区本部」は名称変更とともに管轄エリア拡大

# 連携による新たな価値の提供

## 「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」構築に向けた千葉銀行との共同開発着手

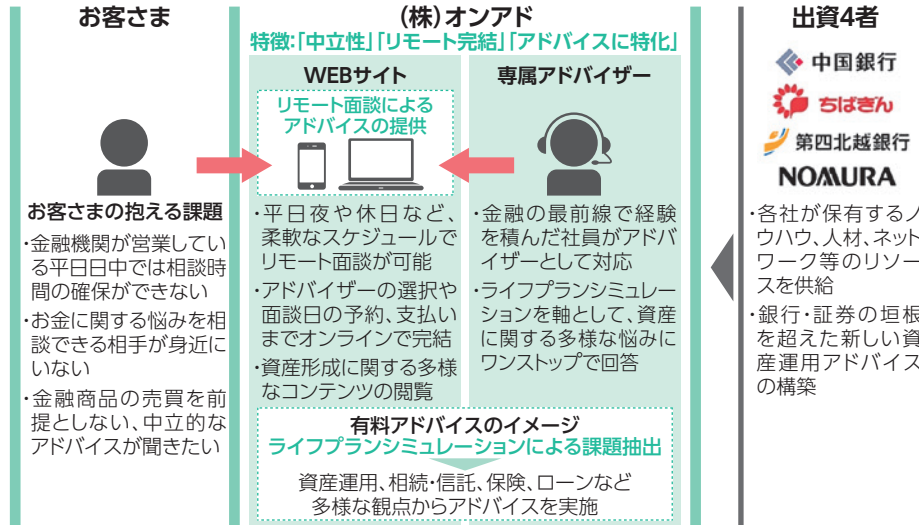
営業店業務におけるペーパーレス化・印鑑レス化を実現するため「TSUBASAアライアンス\*」で連携する千葉銀行と「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」構築に向けた共同開発に着手しました。お客さまの各種申請手続きをタブレットでおこなうことで記入負担の軽減が図れるとともに、入力されたデータをオンラインで連携することで、離れた場所での処理が可能となり、店頭混雑時などのお客さまの待ち時間削減にもつながります。



## リモートでの金融コンサルティングサービス提供をおこなう合併会社の設立

「TSUBASAアライアンス\*」で連携する千葉銀行、第四北越銀行および野村ホールディングス株式会社の4者間で、リモートでの金融コンサルティングサービス提供に向けた合併会社「株式会社オンアド」を2022年1月に設立いたします。

新会社では、3行の銀行事業と野村ホールディングスの証券事業に関するノウハウを組み合わせ、業態を超えた金融コンサルティングサービスを提供します。銀行・証券の最前線で活躍する社員が新会社の専任アドバイザーとなり、ライフプランシミュレーションを軸として資産運用、相続・信託、保険、ローンなどに関するアドバイスを有料で提供します。



(※) 当行、千葉銀行、第四北越銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み